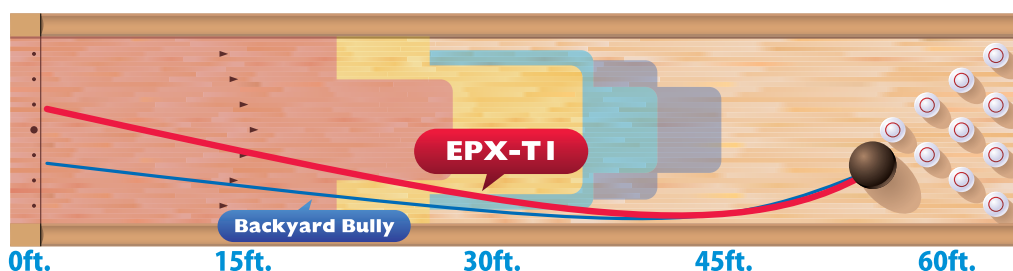
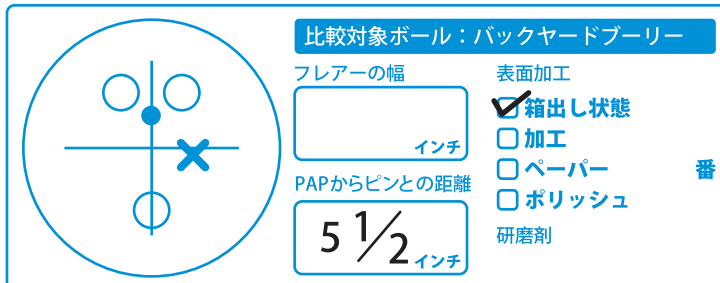
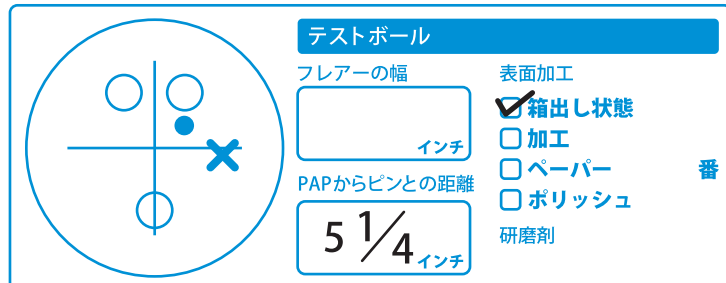


# ボールの特性レポート

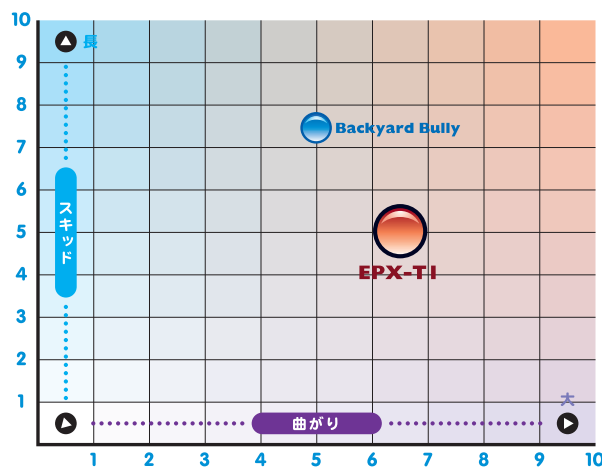
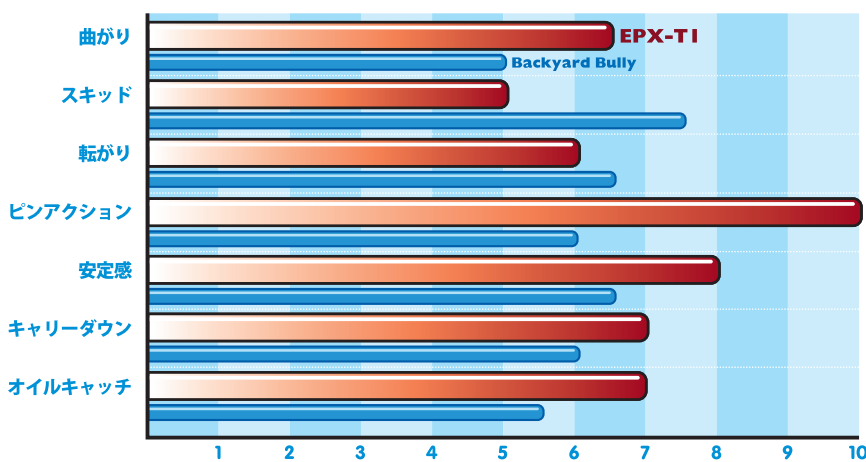
## BALL REPORT



|      |        |     |       |                           |           |
|------|--------|-----|-------|---------------------------|-----------|
| ボール名 | EPX-T1 | 投球者 | 徳江 和則 | センター                      | 平和島スターボウル |
| RG   | 2.573  | △RG | 0.040 | ● ピン ★ PAP ✕ CG ■ バランスホール |           |



ヘビー  
ミディアム  
ライト  
バフ



### ボールの評価

1981年に初めてウレタン素材が発表されてから24年ぶりに、業界初新素材エポキシのEPX-T1が今回コロンビア社から発売となりました。定評のあるロックオン系のコアにカバーストックはエポキシ。スキッドは長くもなく短くもなく程よい感じがし、手前の厚いオイルにも弾かれる感じは全くありません。転がり感の中にも持続的なキャッチ力を感じ、曲がり方は緩やかなアーク状。バックエンドで派手なりアクションはなく、ミディアムヘビー及びミディアムコンディションでの曲がり方が変わりません。今までのカバーストック特性ならば曲がり幅・動きに変化がでるはずですが、曲がり方が変わらず同じパフォーマンスを確保できるのはこれこそエポキシ素材の特徴ということなのでしょう。私の投球したイメージではタイトなラインを投球するのに適したボールと感じました。派手なりアクションをしない運動特性も理由の一つですが、最大の理由はピンアクションの良さにあります。類をみない柔らかく絡むようなピンアクションは、オイル上を泳がしてポケットまでの入射角が足らなくても何でも倒れてしまいそうな、今までにこんなアクションは実感したことがないぐらいに素晴らしいからです。ポケットまでの入射角が足らなくても倒れてしまう確率が高いならば、曲げて入射角を取る必要がないからです。発売前から売り切れが予想されます。是非皆さんにこのエポキシ素材を投球して頂きたいと思います。

### 特記事項

エポキシ素材第一弾となるEPX-T1。  
未知なる可能性を秘めたポテンシャルと無類なきピンアクションを是非お試し下さい。